

みんなのた場

サ一のル仲問

川の上ふれあい会

またみんなに会える場所
お茶ついで広がる笑顔の輪

「川の上ふれあい会」は河北・川の上地区のお年寄りが集い、交流と親睦を深めるミニデイサービス団体です。「明るく楽しく元氣よく」をスローガンに、互いのつながりを深めながら笑顔の輪を広げています。

現在の会員は55歳から89歳までの男女26人で、毎月第3水曜日に川の上構造改善センターに集まり活動しています。活動内容の基本は、会員の皆さんが手作りの料理や漬物を持ち寄って開く「お茶つこ」です。そこに七夕飾り作りやコンサート、クリスマスツリー作り等季節の催しを組み合わせることも多く、会



▲月に1回顔を合わせて互いのつながりを深める会員の皆さん



▲川の上ふれあいコンサートではプロの音楽家と会員の皆さんが共演しました。

場にはいつもイキイキとした表情があふれています。また、交通安全や振り込め詐欺の防止教室、介護予防の講話といった高齢者を取り巻く危険についての啓発を行い、安心安全な地域づくりへの工夫も凝らしています。9月21日(水)に開いた「川の上ふれあいコンサート」には地域の人も来場し、皆でお茶つこをしながらプロの音楽家の演奏を楽しみました。

櫻井さんは「今日も元氣だね」という会員の会話が心地良く、会員の家族からも感謝の言葉を頂くことが多いです」と笑顔を見せて「昔みたいに、またみんなに会える場所」にしていきたいです。そして、何もなくてもいい。今日笑って帰ることができればそれだけで素晴らしいのですから」と小さくとも支え合いに満ちた仲間の大切さを語っていました。



▶100歳のお祝いを受け「感謝の気持ちでいっぱいです」と語った佐藤さん

お風呂と花、ココアが好き

佐藤ハルヲさんは大正5年9月29日に現在の登米市で生まれました。24歳で夫の正雄さん(故人)と結婚し、3人の娘に恵まれました。孫は11人、ひ孫は8人います。誰にでも親切で世話好き、そして正義感と責任感の強い女性です。若い頃は酒屋で働き、その後は日魯漁業(現在のマルハニチロ)で定年まで勤務しました。体の弱い正雄さんの分まで頑張つて働き、子どもを育て上げました。

100歳の誕生日を迎え、市から祝詞と祝い金を受け取った佐藤さんは、「まだ自分が100歳になったという実感はないのですが、皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとございます」と笑顔で語っていました。



佐藤ハルヲさん 100歳 (日和が丘)

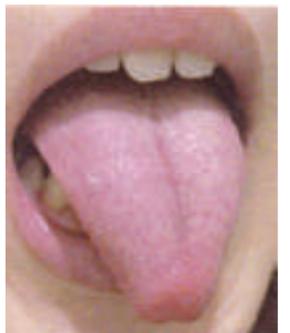
健康コラム 石巻市立病院

第21回 診察室で

石巻市立病院 内科部長 佐々木幸則

石巻市立病院は9月1日に開院し、サン・ファン・パウティスタ号の如く力強く出帆いたしました。まず始めは、外来診療です。患者さんも初めての医師と遭遇するべく、待合室にて緊張で血圧が上昇して、待っているものと推察しています。片や我々医師も問診票を穴のあくほど、血圧が上昇しながら眼を凝らして情報を得て、こちらからコールすることになります。短い診察時間の中で最高の診察・治療を模索しようと全神経を注ぎます。そこでまずリラックスさせる目的もある漢方の診察の1つである舌診(舌を出してみる)と言う診察を私は取り入れています。かのプロバスケットボールのスーパースターと知られるマイケル・ジョーダンも、シュートの瞬間は、筋肉・精神がリラックスするように舌を出しています。この診察でお互いの緊張が取れて、診察・会話が進行するとより適確な診断・治療が進行する効果が生まれます。舌の形・色・動きそれに加えて舌の苔(舌苔)を観察すると、多くの患者さんの体調をある程度読みとれるという寸法です。そこで一句。

ベロ出して
心穏やか
診察や
患者さんもリラックス



患者さんが健康を維持していくことを願うばかりです。

まちの話題

雄勝地区

10月2日(日)
大須小学校

体を動かし心もさわやか おがっスポレクまつり

「第5回おがっスポレクまつり」が開かれ、約200人が楽しい1日を過ごしました。震災で散り散りになった人たちが集う機会にしようと、以前の町民運動会を復活させる形で行われています。競技は大須、伊勢畑、上雄勝、名振、三区の5地区対抗で進めました。今年も龍谷大学(京都市)や石巻専修大学、東北学院大学の学生たちが運営に協力しました。

河北地区

10月9日(日)
河北総合センター「ビッグバン」

華麗で迫力あふれる 神楽次々と

石巻市、女川町の8団体が出演し、石巻・桃生・牡鹿地方神楽大会が開かれました。各地域で大切に伝承されている神楽を文化遺産とし、広く公開することでふるさとへの愛着を深めてもらおうと毎年開催されており、今年で39回目になりました。地元・河北地区の後谷地法印神楽保存会が演じた「笹結び」では、演者がステージを飛び出して客席で舞い、会場を沸かせました。

桃生地区

9月10日(土)
桃生植立山公園

1,000人が はねこ踊りパレード

「ものうふれあい祭2016 はねこ踊りフェスティバルin桃生」が盛大に開催されました。昼間のコンテストに続いて、夕刻から始まったパレードには県指定無形民俗文化財である「寺崎のはねこ踊り」をはじめ、市内外の22愛好団体の約1千人が総出演で会場を踊り歩きました。どの団体もはじける笑顔で舞い、見物者も囃子に合わせて手をたたき等して楽しみました。

河南地区

9月10日(土)
遊楽館

いつまでもお元気で 子どもたちもお祝い

敬老の日を前に河南地区敬老会が行われました。第1部の式典では祝辞の後、和淵小学校と須江小学校の代表児童2人が作文を読み上げ、おじいさん、おばあさんたちへの日頃の感謝と、末永い健康を願う気持ちを伝えました。第2部のアトラクションでは、玄米ダンベルクラブのリードにあわせて健康体操を行ったほか、河南文化協会の会員たちによる舞と歌が会場を盛り上げました。

牡鹿地区

9月1日(木)~23日(金)
牡鹿保健福祉センター「清優館」

心を癒やす 趣味の作品300点

牡鹿地区の趣味の作品展が開催されました。創作活動を行っている人たちの発表の場であるとともに、来場者同士のふれあいや生きがい創出を目的としたイベントで、プロ、アマ問わず46人の作品約300点が会場に並びました。部門は絵画、書、工芸、手芸等の多種におよび、なかでも手芸部門では、色鮮やかなつし飾りやつし雛等のさまざまな作品が、訪れた人たちの目を楽しませていました。

北上地区

9月11日(日)
北上中学校校庭

地域の生命と財産を守る力 きびきび消防演習

石巻市消防団北上地区団の消防演習が行われ、団員109人が参集して日ごろの訓練の成果を存分に発揮しました。分団長による開会宣言に続いて始まった演習では、6チームに分かれて実践さながらの積載車操作、放水作業を繰り広げました。いずれも統制のとれた操法披露で、災害への備えと、安全安心な地域に向けて培ってきた技術と心意気を示しました。

石巻地区

10月10日(月・祝)
総合運動公園

東京五輪聖火リレー 出発地誘致へアピール

2020年東京オリンピック聖火リレーの出発地を石巻市に誘致しようと、官民一体のプロジェクトが発足し、体育の日にキックオフイベントが行われました。スポーツ少年団の子どもたちによる模擬聖火リレーでは、国立競技場から貸与されている聖火台に火をともしました。また、東京五輪から正式種目となるスケートボードのパフォーマンスや空手の演武披露があり、五輪ムードを高めました。

石巻地区

9月25日(日)
石巻専修大学

未来の政策コンテスト 最優秀賞に石巻商業高チーム

若者が、石巻市の30年後のビジョンと10年後の重点施策・予算案を提案する「未来石巻市2016政策コンテスト」決勝大会が行われ、高校生、大学生の5チームが予算の裏付けをしながら実現性のある事業を発表しました。来場者による投票の結果、最優秀賞はアニメを生かしたまちづくりとしてメディア大学の創設等を打ち出した石巻商業高校の「トリガー」が射止めました。